

資料1(イ)

令和4年度

ニホンザルに関する各種データ

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

サル被害状況

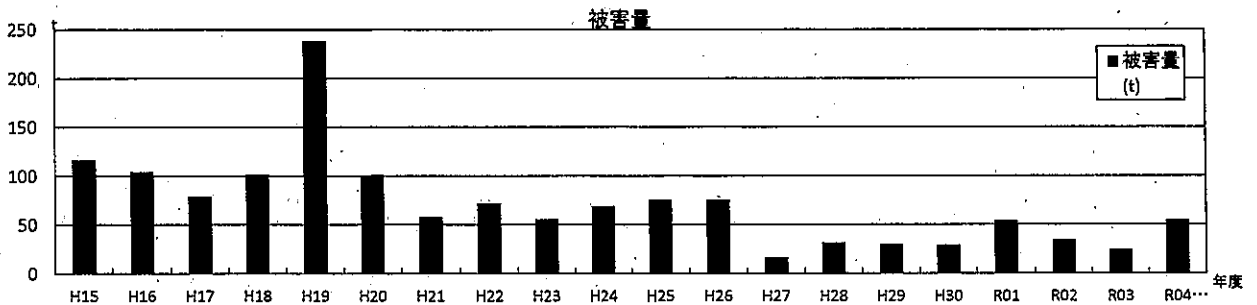
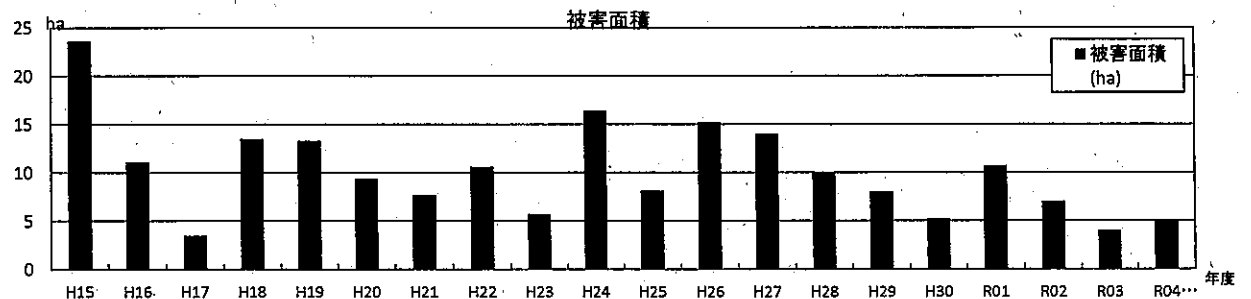
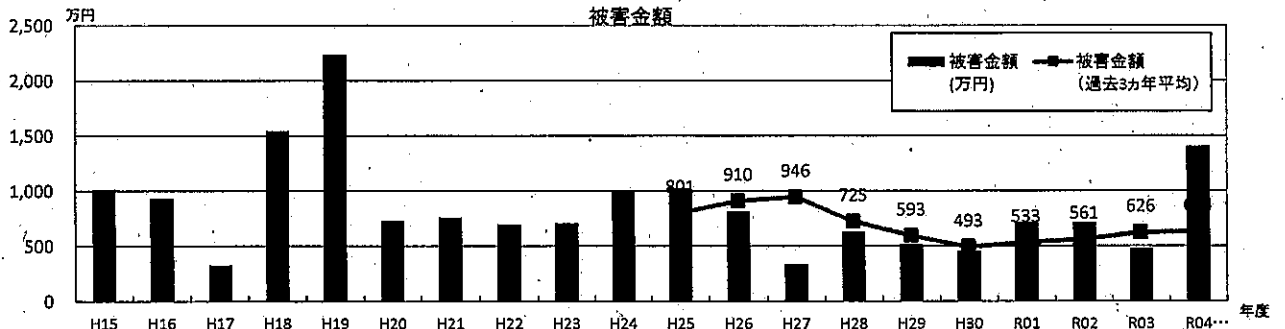
	被害金額 (万円)	被害面積 (ha)	被害量 (t)	被害金額 (過去3年平均)	
H15	1,014	23.6	116.1		1期計画
H16	935	11.1	104.1		
H17	327	3.5	79.2		
H18	1,545	13.5	101.7		2期計画
H19	2,238	13.3	238.0		
H20	730	9.4	100.9		
H21	759	7.7	58.2		
H22	697	10.6	71.6		
H23	706	5.7	55.4		3期計画
H24	999	16.4	68.9		
H25	1,025	8.1	75.1	801	
H26	814	15.2	75.1	910	
H27	336	14.0	16.5	946	
H28	628	9.9	31.2	725	4期計画
H29	516	8.0	30	593	
H30	455	5.2	29	493	
R01	712	10.7	53.6	533	
R02	712	7.0	34.2	561	
R03	477	4.0	24.1	626	5期計画
R04 (速報値)	1,406	5.1	54.4	634	

(単位:千円)

計画策定 市町村	H30		R01		R02		R03		R04(速報)	
	目標	被害金額	目標	被害金額	目標	被害金額	目標	被害金額	目標	被害金額
白石市	3,150	3,275	2,947	2,970	3,166	4,913	3,029	2,847	2,947	3,454
角田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蔵王町	37	25	37	22	37	36	20	29	20	51
七ヶ宿町	2,470	344	275	1,369	247	470	396	26	20	944
川崎町	494	178	124	161	113	198	138	629	440	480
丸森町	100	51	100	179	100	179	156	179	162	169
仙台市	120	315	120	30	120	110	21	5	21	6
大和町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
山元町	100	0	100	0	108	0	108	0	108	0
大崎町	-	1	-	0	-	283	-	250	-	0
加美町	405	363	507	2,386	371	930	371	806	644	8,946
合計	6,876	4,552	4,210	7,117	4,262	7,119	4,239	4,771	4,362	14,050

※蔵王町は平成29年度より計画対象となったため、平成28年度以前は参考。大和町は令和5年度より計画対象のため、被害額は参考。

※ 第二期宮城県ニホンザル保護管理計画については、東日本大震災の影響により、当初計画の5年を1年延長して6カ年で実施。
第三期計画は、鳥獣保護管理事業計画の最終年に合わせ、平成25年度から平成28年度までの4カ年計画で策定。

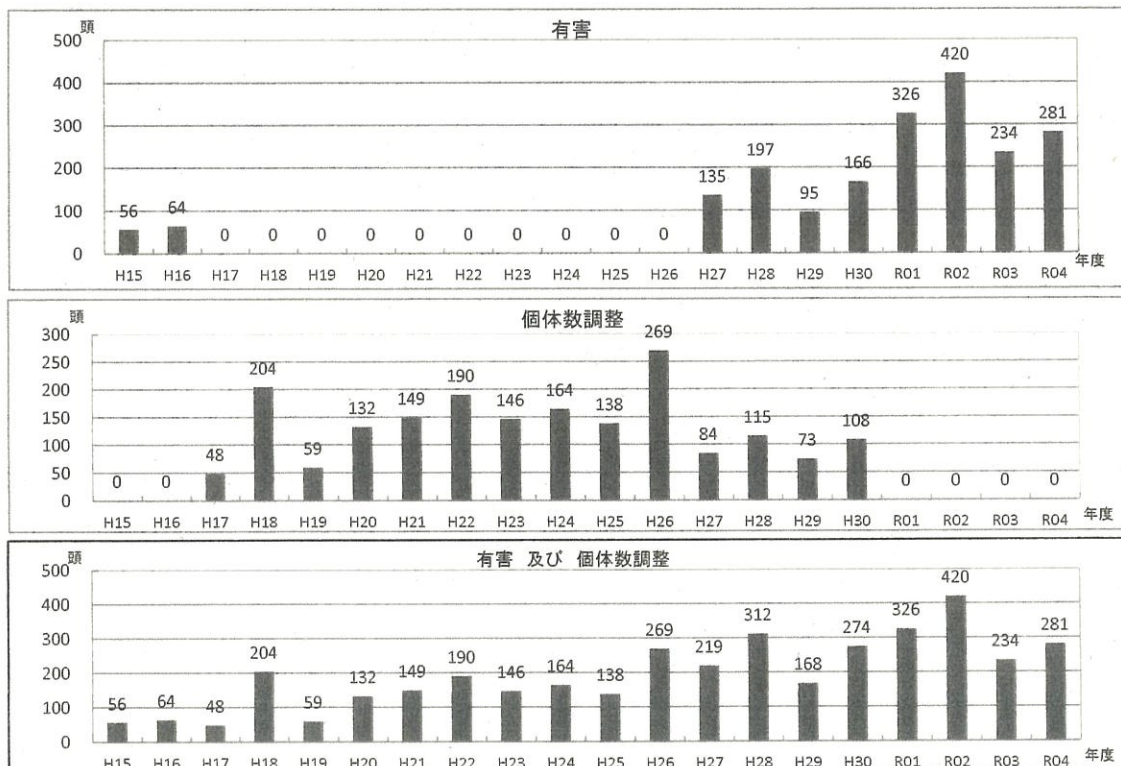


サル捕獲状況

	有害	個体数調整	計	
H15	56	0	56	1期計画
H16	64	0	64	
H17	0	48	48	
H18	0	204	204	
H19	0	59	59	2期計画
H20	0	132	132	
H21	0	149	149	
H22	0	190	190	
H23	0	146	146	
H24	0	164	164	3期計画
H25	0	138	138	
H26	0	269	269	
H27	135	84	219	
H28	197	115	312	4期計画
H29	95	73	168	
H30	166	108	274	
R01	326	0	326	
R02	420	0	420	
R03	234	0	234	5期計画
R04	281	0	281	

市町村	H30		R01		R02		R03		R04	
	捕獲目標	捕獲数	捕獲目標	捕獲数	捕獲目標	捕獲数	捕獲目標	捕獲数	捕獲目標	捕獲数
白石市	50	39	50	30	50	51	100	8	50	55
角田市	15	0	15	0	10	0	10	0	5	0
蔵王町	50	1	50	3	50	0	50	2	50	0
七ヶ宿町	200	35	200	97	300	198	300	75	300	89
川崎町	50	24	50	37	50	50	50	45	50	55
丸森町	22	14	20	19	20	34	50	36	50	25
仙台市	130	108	130	80	130	63	130	56	91	42
大和町	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
山元町	10	0	10	1	10	0	10	0	10	0
大崎市	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
加美町	50	52	50	59	50	24	50	12	50	15
合計	577	273	575	326	670	420	750	234	656	281

※平成30年度、上記市町以外で、右巻市1頭捕獲(有害鳥獣捕獲)
 ・上記捕獲数とは別に、南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会において、発信機の増設、更新を行った。(白石市増設2頭、蔵王町更新1頭、七ヶ宿町増設1頭・更新1頭、川崎町増設2頭、丸森町更新3頭)
 ・仙台市では、7頭分の発信機を増設・更新している。(市内15群のうち11群25頭に発信機装着)
 ※ 第二期宮城県ニホンザル保護管理計画については、東日本大震災の影響により、当初計画の5年を1年延長して6カ年で実施。
 第三期計画は、鳥獣保護事業計画の最終年に合わせ、平成25年度から平成28年度までの4カ年計画で策定。



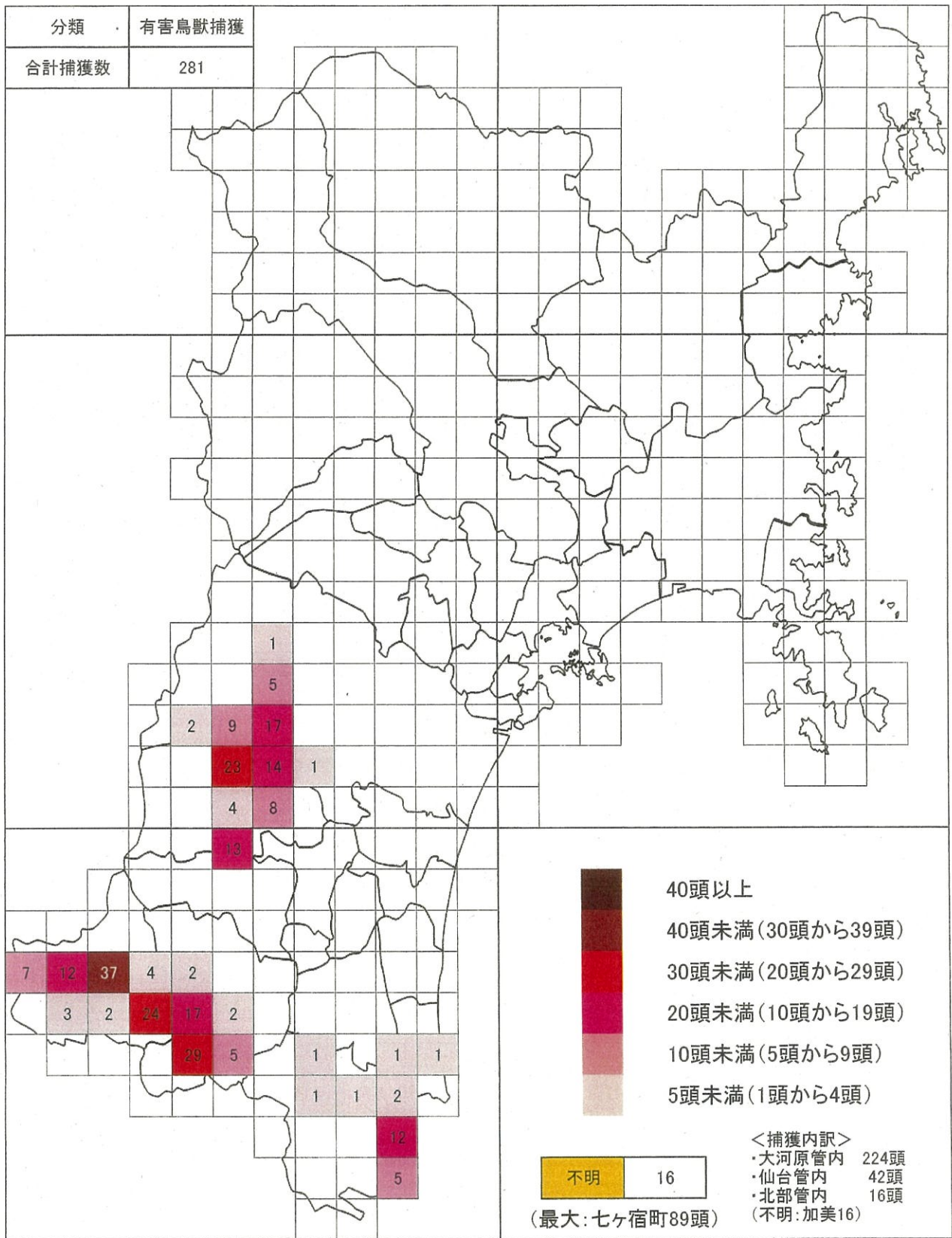
宮城県のニホンザル群（ポピュレーション）変遷

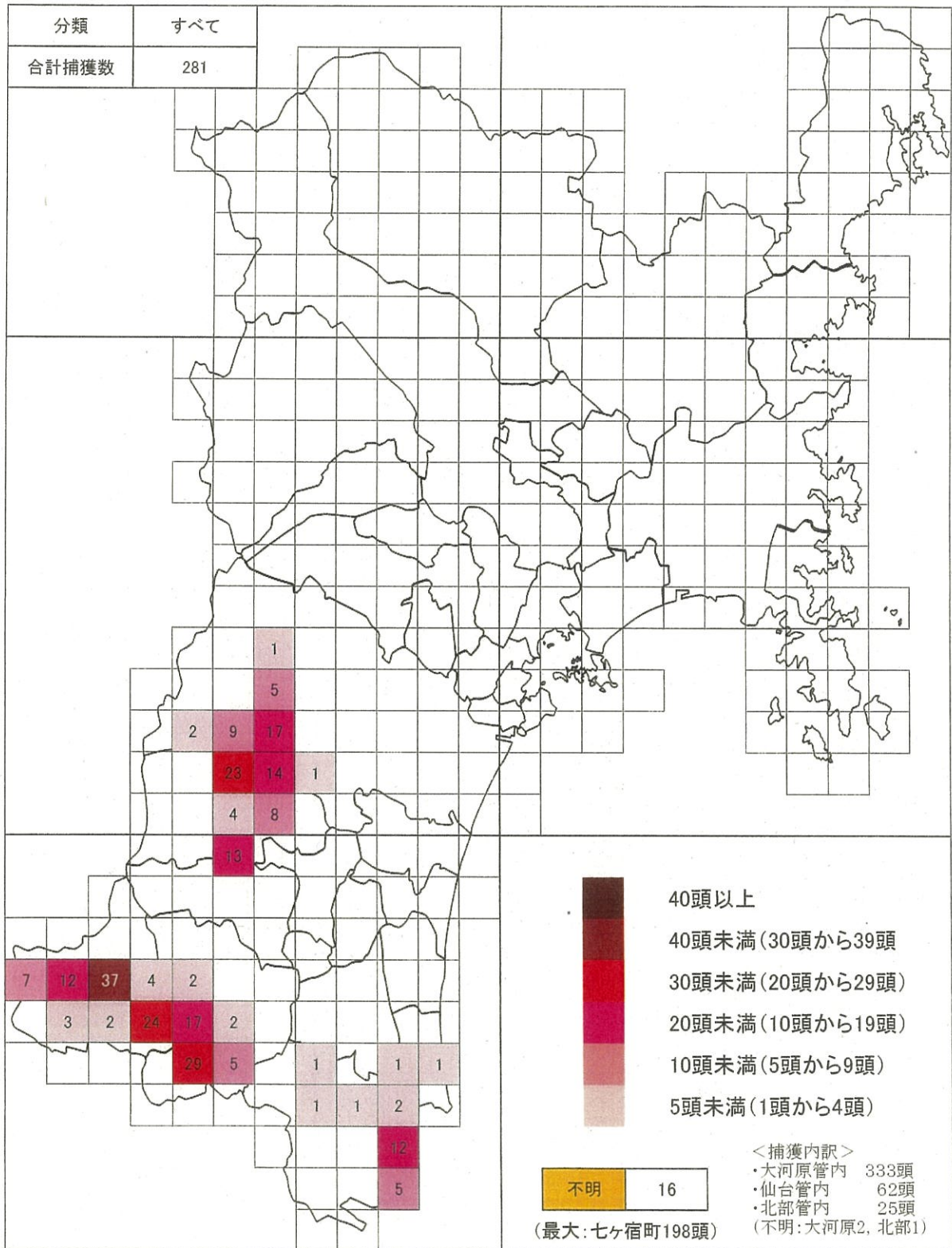
単位：年度、頭

名称		加美	仙台・川崎	七ヶ宿	白石	丸森西部	丸森東部	大崎		ハナレザル		金華山	
H16	群数	3	10	7	2	詳細不明		1		-		6	
	頭数	100	560	440	80	詳細不明		50		290		230	
H17	群数	3	11	7	2	詳細不明		1		-		6	
	頭数	110	580	360	80	詳細不明		60		300		210	
H18	群数	3	12	7	3	2		1		-		6	
	頭数	130	650	370	120	100		60		380		245	
H19	群数	3	12	7	3	1	1	1		-		6	
	群数	3	12	7	3	1	(2)	1		-		6	
	頭数	140	548	394	140	30	100	50		420		219	
H20	群数	3	13	7	3	1	1	1		-		6	
	群数	3	13	7	3	1	(2)	1		-		6	
	頭数	150	559	413	130	30	100	30		395		249	
H21	群数	3	14	7	3	1	2	1		-		6	
	頭数	150	589	501	130	30	150	20		471		254	
H22	群数	3	15	10	3	1	2	1		-		6	
	頭数	120	614	666	130	26	150	7		514		243	
H23	群数	4	14	10	3	1	2	1		-		6	
	頭数	133	639	609	205	30	150	2		530		259	
H24	群数	4	17	12	4	1	2	-		-		6	
	頭数	145	684	706	265	30	146	-		593		264	
H25	群数	4	17	13	5	1	2	-		-		6	
	頭数	145	744	712	315	31	146	-		628		239	
H26	群数	5	19	13	7	1	3	-		-		6	
	頭数	176	808	694	380	31	215	-		691		305	
H27	群数	5	19	13	7	1	3	-		-		6	
	頭数	176	811	740	330	31	197	-		686		277	
H28	群数	5	20	13	7	1	4	-		-		6	
	頭数	188	847	730	365	18	147	-		687		269	
H29	群数	5	20	13	7	1	6	-		-		6	
	頭数	182	841	731	375	18	197	-		703		249	
H30	群数	5	20	13	7	1	6	-		-		6	
	頭数	168	801	757	346	18	207	-		689		251	
R01	群数	5	22	13	7	1	6	-		-		6	
	頭数	202	796	689	364	18	228	-		689		265	
R02	群数	4	21	13	9	1	6	-		-		6	
	頭数	132	782	675	372	18	267	-		674		244	
R03	群数	4	21	13	11	1	7	-		-		6	
	頭数	132	787	621	430	18	307	-		689		237	
R04	群数	4	21	14	11	1	7	-		-		6	
	頭数	113	762	592	416	18	293	-		658		259	

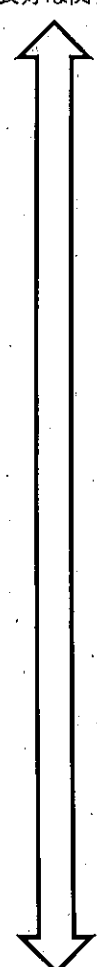
※ 出典：ニホンザル保護管理事業報告書

※ 群数の（ ）の数字は、不明群を加算した数値である。





ニホンザルの群れ評価の判定基準

評価項目 評価レベル	人に対する反応	農地への出方	住宅地への出方	各種威嚇に対する反応	追いつきのしやすさの程度*	関係状態
A	数 100m の距離があっても接近して来る人の姿を見れば逃げる	出沒しない	出沒しない	威嚇する前に逃げ去る	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 良好。農耕地がない。	 <p style="text-align: center;">評価が高い (良好な関係)</p> <p style="text-align: center;">評価が低い (険悪な関係)</p>
B	人との距離が 50~100m になると逃げる	時に群れのオスが出沒する	出沒しない	強力花火を撃つとただちに逃げ去る	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 良好。農耕地はわずか。	
C	人との距離が 50m 以内になっても逃げないことがある	時にオトナメスも出沒する	警戒しながらも住宅地のすぐ近くまで来ることがある	強力花火だとゆっくりと、銃器を使用すると急速に逃げる	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 良好。農耕地や人家が少しある。	
D	追いついたら逃げるが、そうしなければ人を無視する	頻繁にオスやオトナメスが出沒する	移動時に住宅地を通過する	強力花火や銃器等を併用するとゆっくりとだが逃げる	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② やや良好。農耕地や人家がかなりある。	
E	追いついても遠くへは逃げずに身を隠すだけのことが多い	頻繁にコドモやアカンボウも出沒する	休息時にも住宅地の人工物を利用することがある	強力花火や銃器等を併用しても逃げない個体がいる	① 上流側にいる。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 森林の面積より植林地・農耕地・宅地等の面積が上回る。	
F	人を恐れず、すぐ近くに身を隠すだけである	常に群れの全員が出沒する	移動や休息に頻繁に利用し、軒下につるした農作物まで採食する	なにを使用しても近くにとどまり、移動方向を変えない	① 上流側にいる。下流側にいない。 ② 植林以外の森林面積が多くなく、農耕地や人家が入り組んで存在する。	
WF	逆に人を威嚇したり攻撃する場合もある	農地に居座った状態になる	家屋内まで侵入して食物をあさったり、人の手から食物を強奪さえする	あらゆる威嚇道具への対処法を学習し、逆に人に向ってくることもある	① 上流側にいる。下流側にいない。 ② 平坦な地形で植林以外の森林面積がほとんどなく、農耕地と人家が連続して存在する。	

* :①上流側と下流側の隣接群の存在, ②追いつき目標地域の森林の状態

注) WF レベルを新たに追加設定した背景には次のような諸事情がある。

- 1) 群れの一部が市街地にまで進出している。
- 2) 群れ又は群れの一部が市街地を含む住宅密集地に遊動域を構えている。
- 3) 農業被害以外の生活被害が多発化しつつあり、人的被害が発生する危険性もきわめて高い。

このような地域は、平坦な地形が多くかつ人口密度が高いことから「銃器の使用ができないこと」、高齢者や乳児・幼児への悪影響から「爆音の強力な花火等の使用もできないこと」など、追いつきはもとより追いつきすら困難な状況にある。

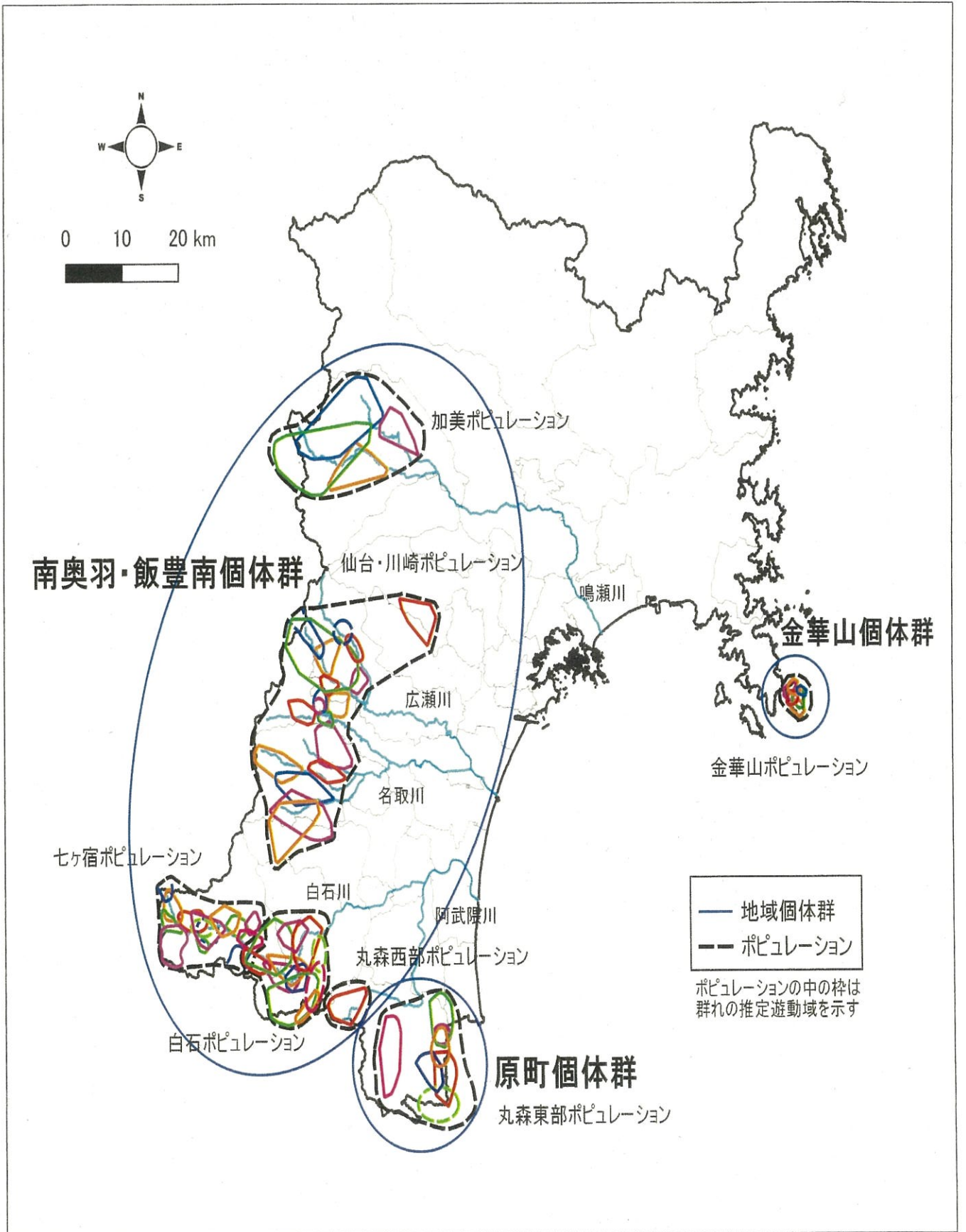


図1 宮城県における群れの空間配置（令和2年度調査）

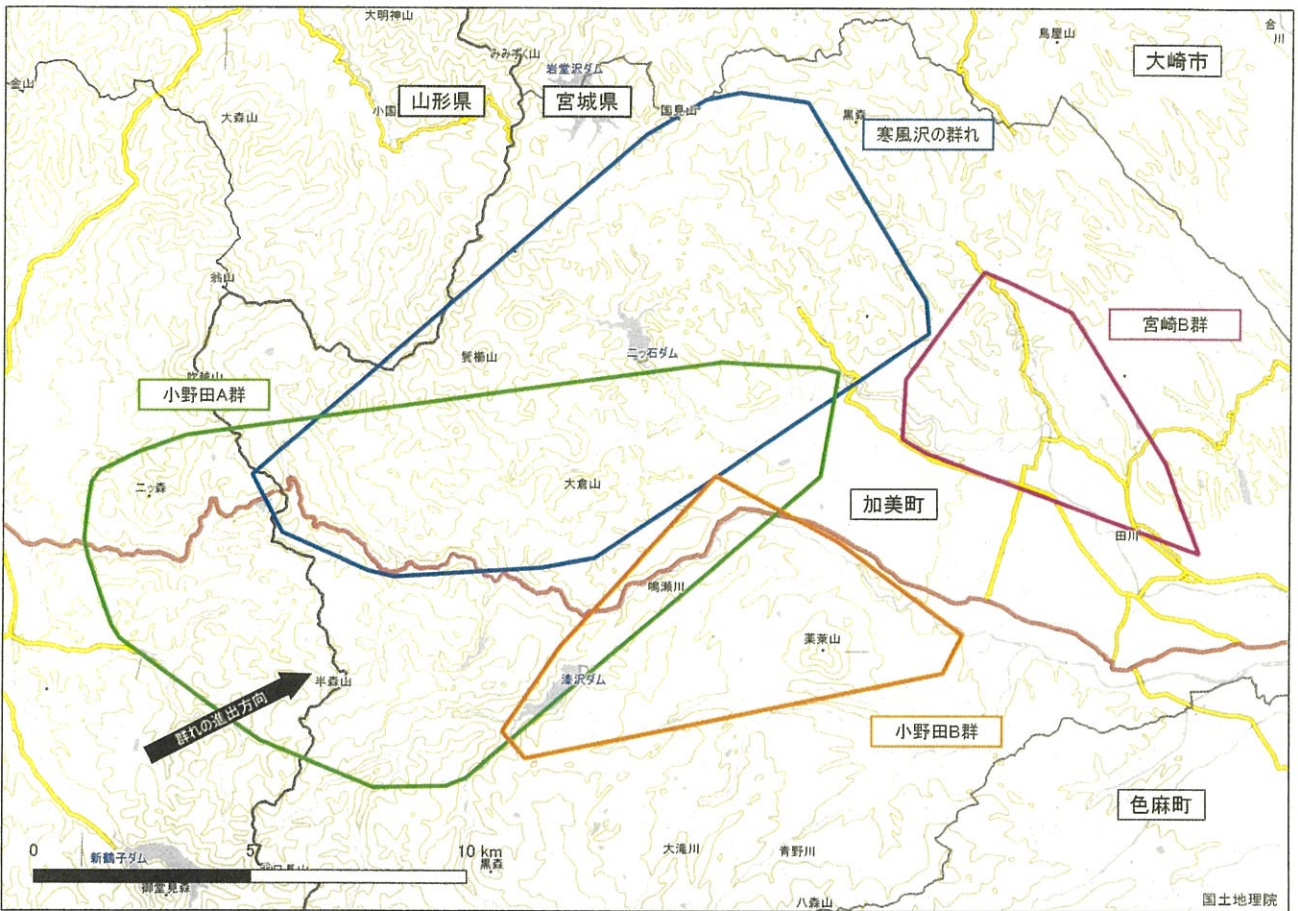


図2 加美ポピュレーションに属する4群の推定遊動域 (推定)

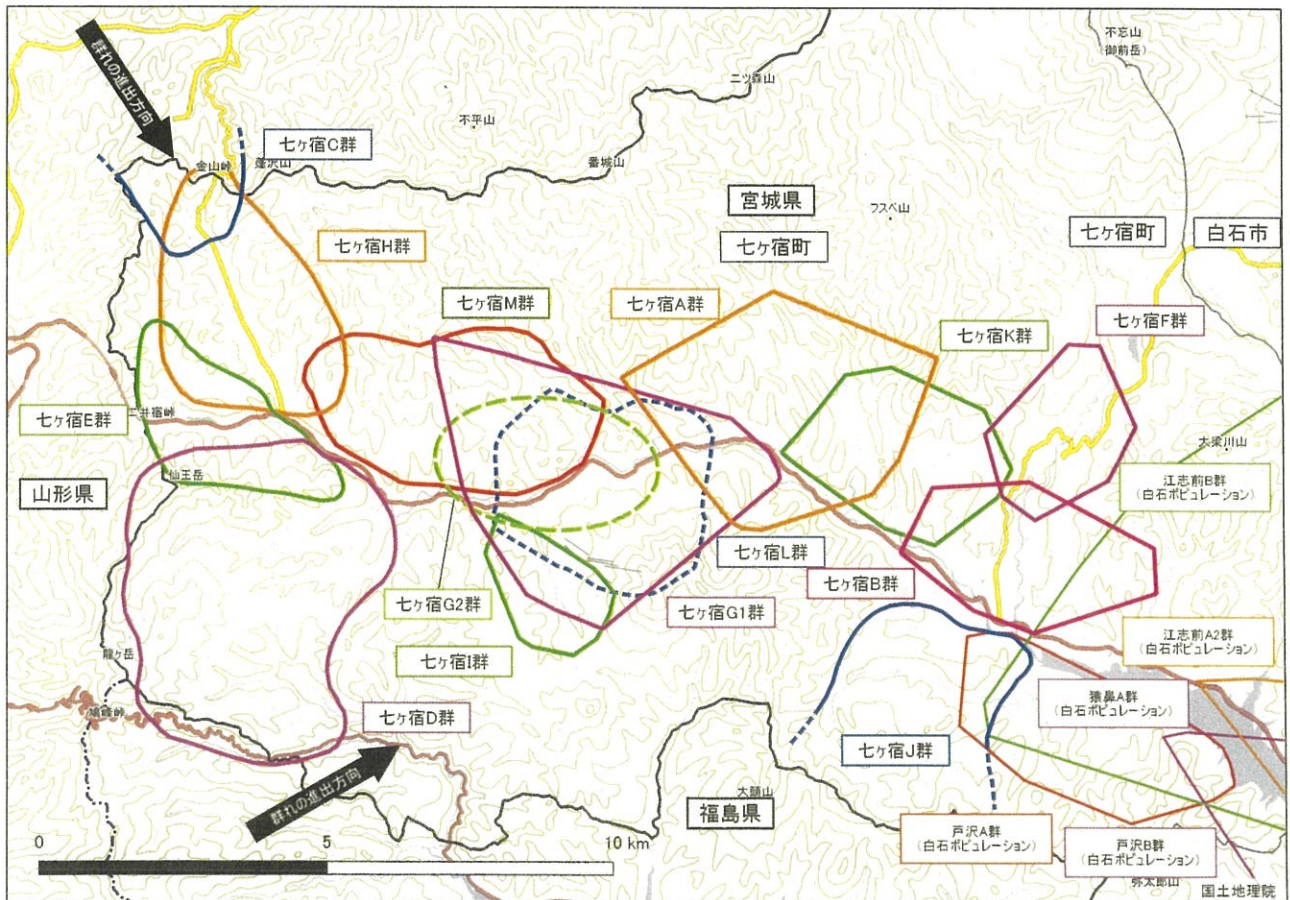


図3 七ヶ宿ポピュレーションに属する14群の推定遊動域

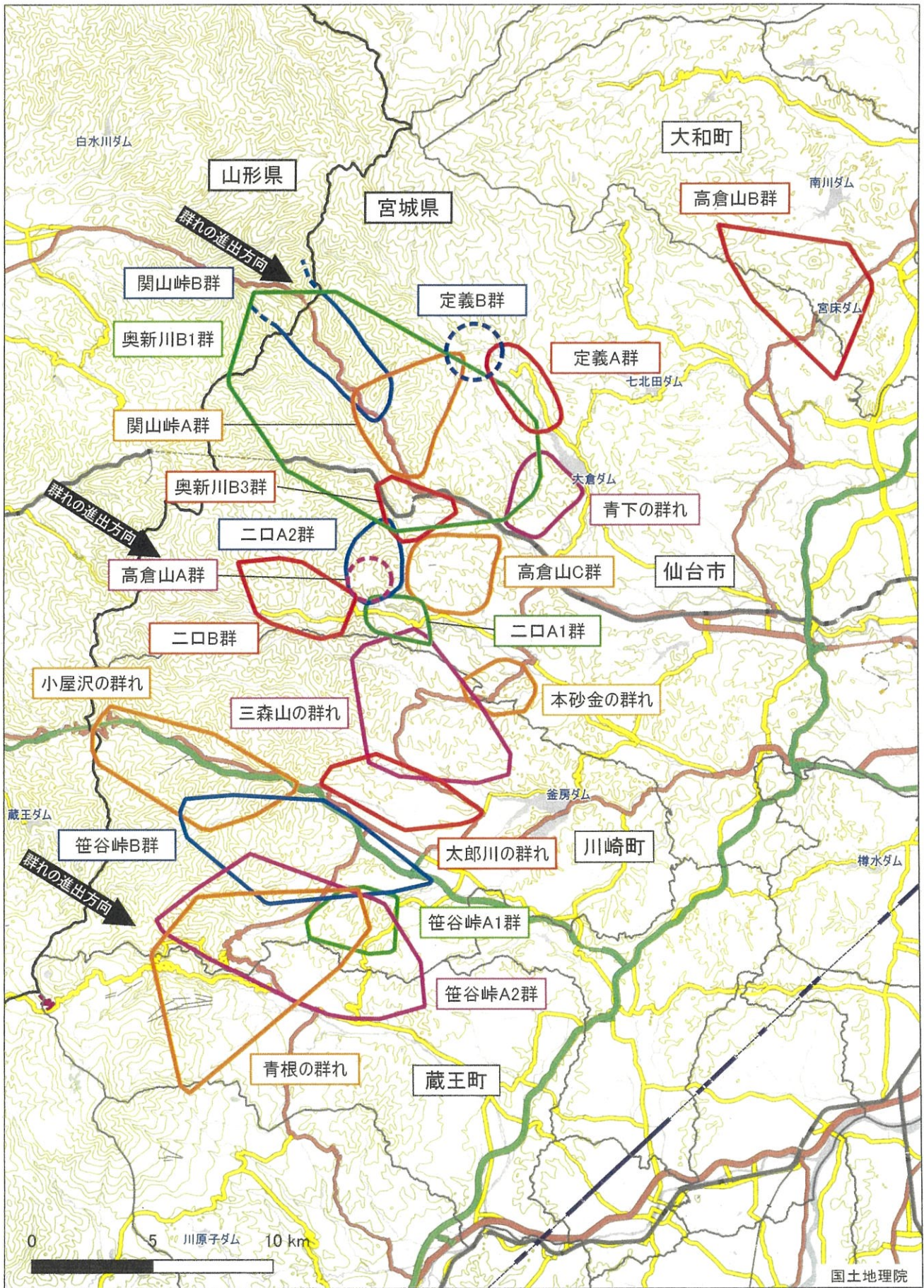


図4-1 仙台・川崎ポピュレーションに属する21群の推定遊動域

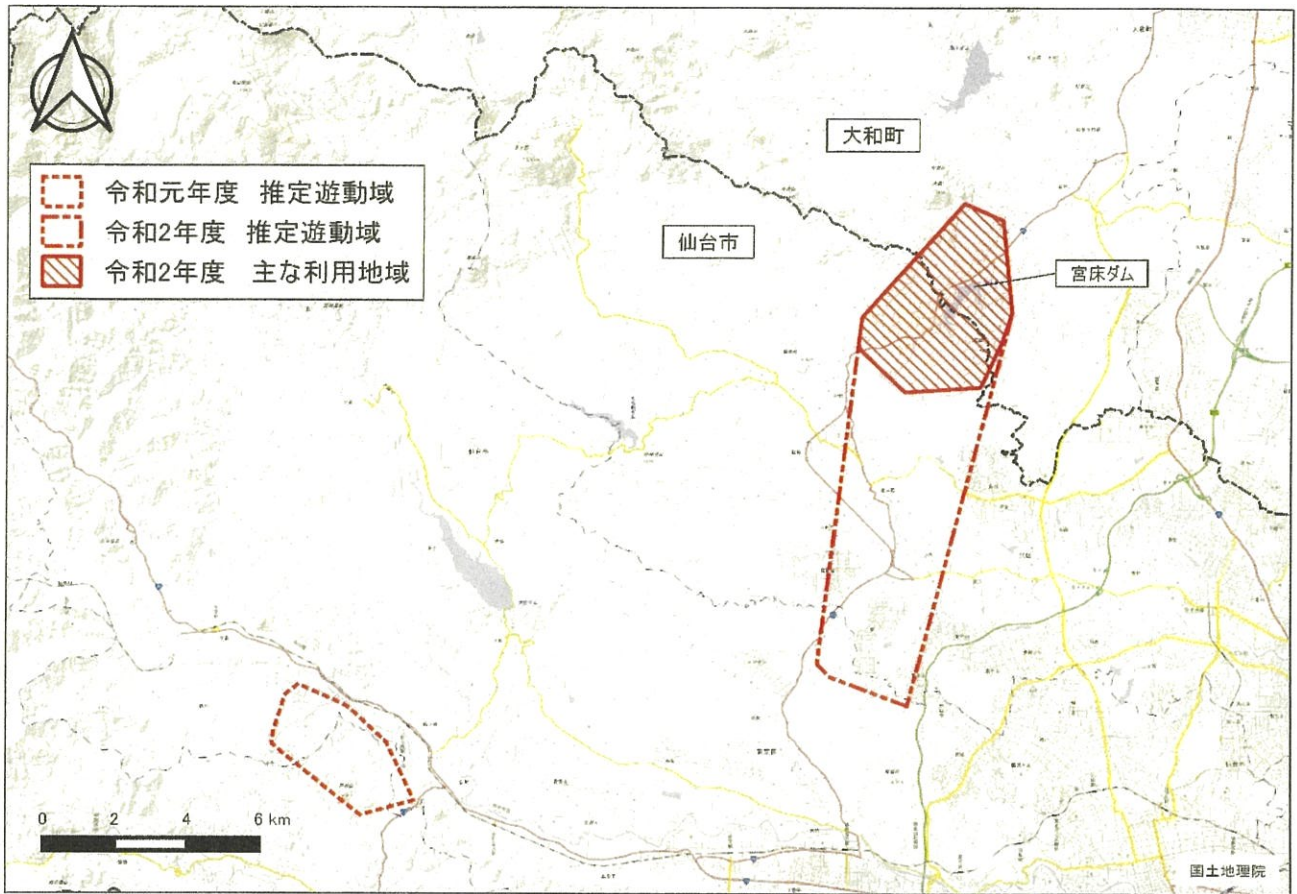


図4-2 「高倉山B群」の推定遊動域の変化

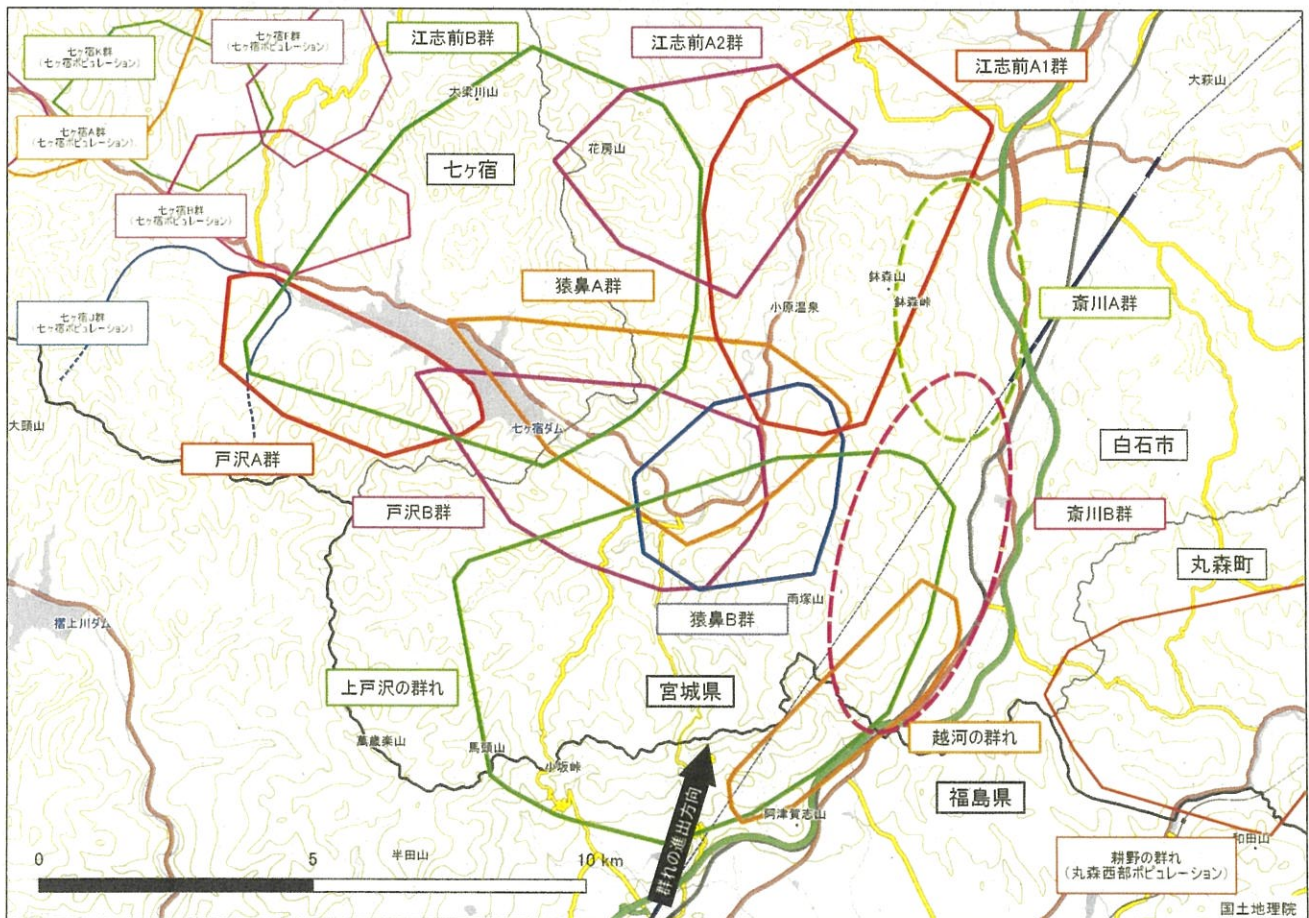


図5 白石ポピュレーションに属する11群の推定遊動域

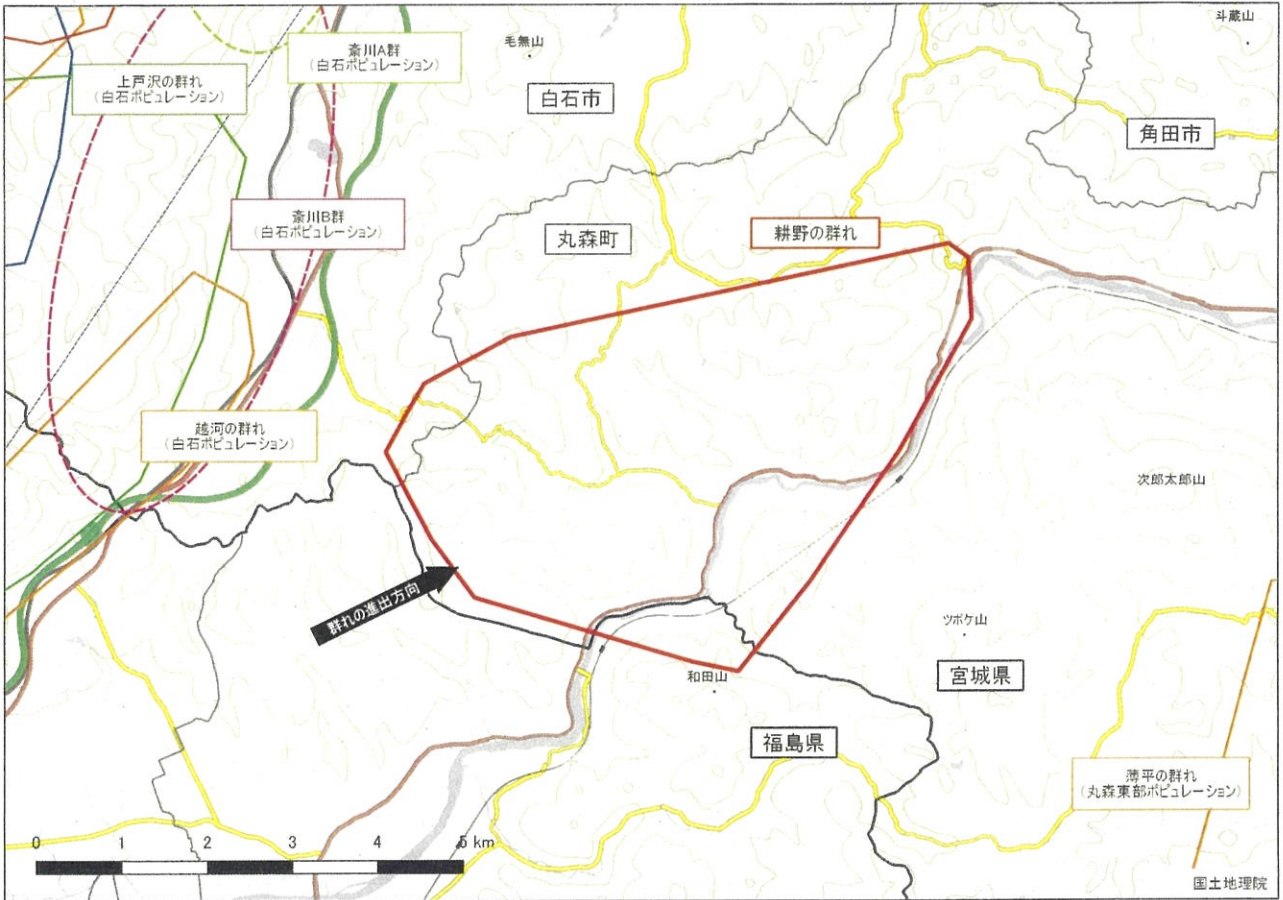


図6 丸森西部ポピュレーションに属する「耕野の群れ」推定遊動域

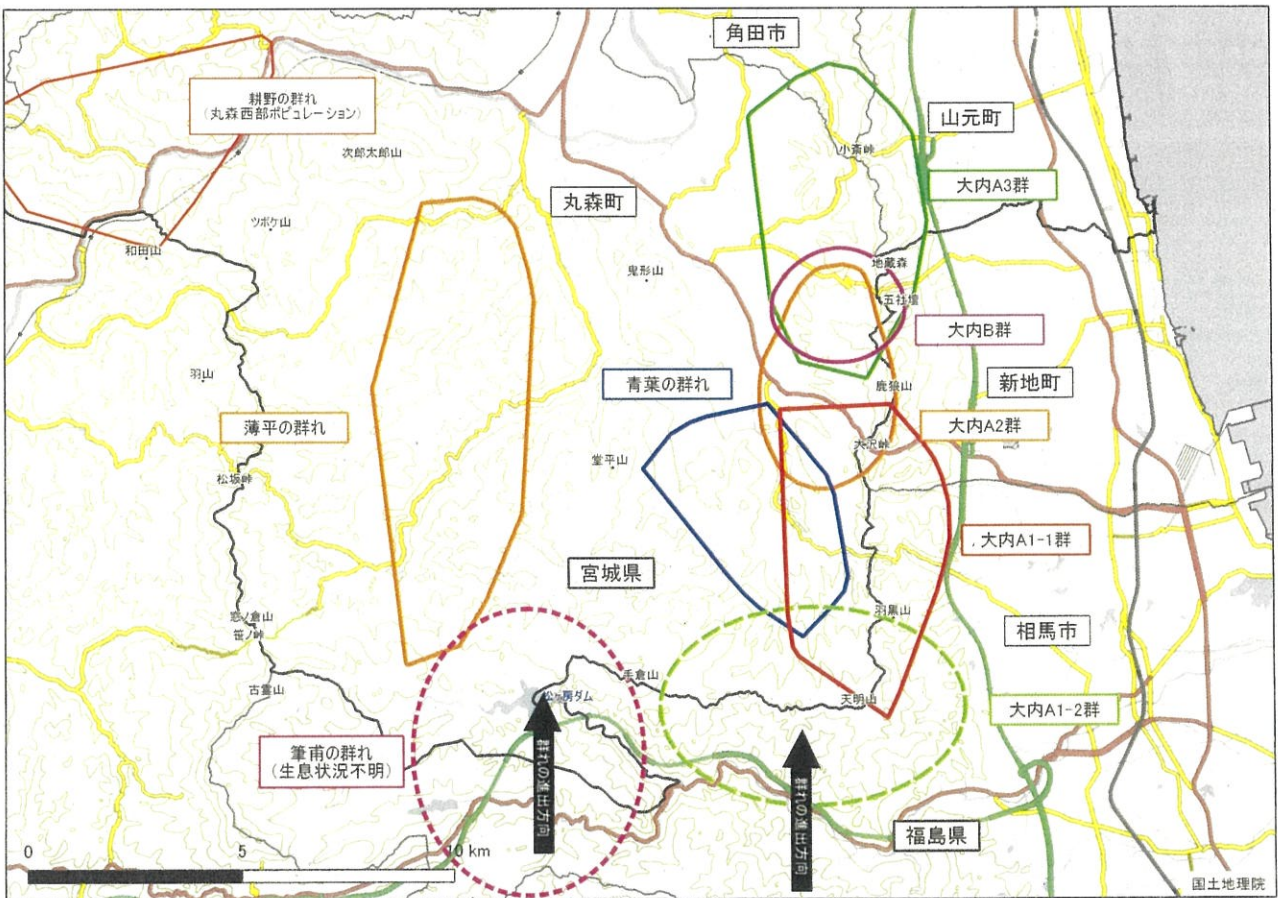


図7 丸森東部ポピュレーションに属する6群の推定遊動域